

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1  
道路網の整備と維持管理

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路建設課長 宇田川 裕之 電話番号 0852-22-6456

事務事業の名称	幹線道路整備事業		
目的	(1) 対象	県民・道路利用者	
	(2) 意図	高速道路インターチェンジや生活圏中心都市等への移動時間を短縮する。	
事業概要	県内各地とインターチェンジや広域市町村圏中心都市を連絡する道路など県内道路網の骨格となる幹線道路（県管理の一般国道全てと県道の約1/3で構成）を、国庫補助事業や交付金事業、県単独の道路整備事業を活用しながら、未整備区間を2車線以上に改良する整備事業を推進する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	幹線道路の2車線改良率	目標値		85.0	86.0	87.0	88.0	%
	式・定義	幹線道路の改良済み（車道幅員5.5m以上）延長/同全体延長	取組目標値						
			実績値	84.0	85.0	86.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名	緊急輸送道路（緊急輸送道路ネットワーク計画で指定した道路）の2車線改良率	目標値		90.0	90.0	90.0	91.0	%
	式・定義	緊急輸送道路の改良済み（車道幅員5.5m以上）延長/同全体延長	取組目標値						
			実績値	89.0	89.0	90.0			
			達成率	-	98.9	100.0	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	9,406,574	13,573,349
うち一般財源 (千円)	372,196	737,662

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 県内の国・県道の2車線改良率は、全国平均76.9%に対し68.3%（全国40番目）と大きく下回っている。（平成28年4月1日現在の数値）
- 島根県が管理する幹線道路においては、86%の改良率となっている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 平成29年度は下記工区が供用開始され、移動時間が短縮された。

邑南飯南線 千束2工区 L=424m  
 桜江金城線 市山工区 L=353m  
 田所国府線 宇野2工区 L=640m  
 隠岐空港線 西田工区 L=344m  
 浅利渡津線 浅利2工区 L=580m

など、19工区（幹線道路）、10工区（緊急輸送道路）

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- 高速道路インターチェンジや生活圏中心都市までの移動に係る所要時間が長く、物流等の産業活動や通勤、通院等の日々の生活に不便が生じている。
- 災害による通行止めにより避難や救急活動、物資の輸送に支障が出ている。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 高速道路インターチェンジや生活圏中心都市等をつなぐ幹線道路が未整備であり、狭隘な区間や線形の悪い区間がある。
- 緊急輸送道路でありながら未改良であり異常気象時等において被災することが多く、ネットワーク機能が確保されていない。

### ③原因を解消するための「課題」

- 道路整備に必要な予算配分ができるよう、国費を確保しなければならない。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 国に対し地域の実情に応じた予算が配分されるよう丁寧に状況を説明し、必要な予算が配分されるよう要望していく。